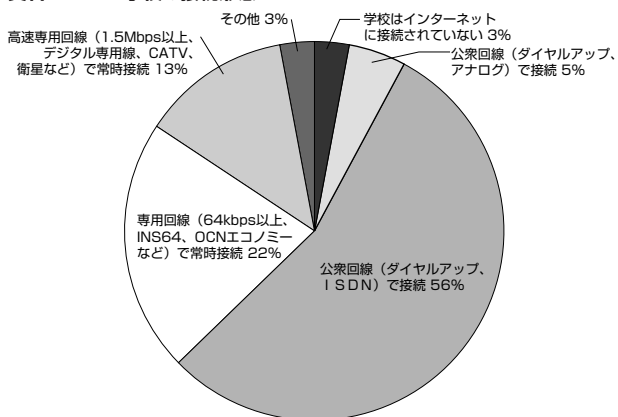


第1章 教育

小中高①

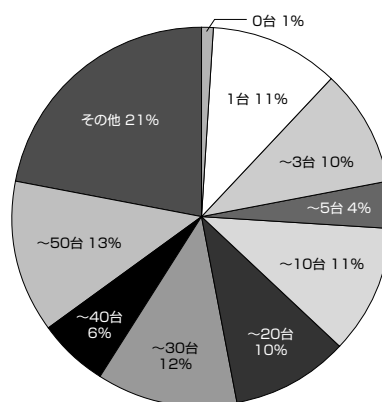
校内ネットワークが未整備

資料3-1-1 学校の接続形態



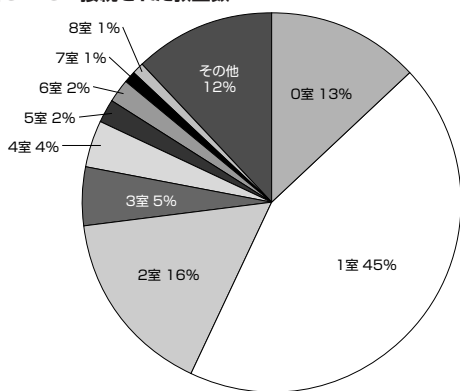
出所 大阪教育大学「インターネットと教育」調査結果を元に作成

資料3-1-2 接続された端末数



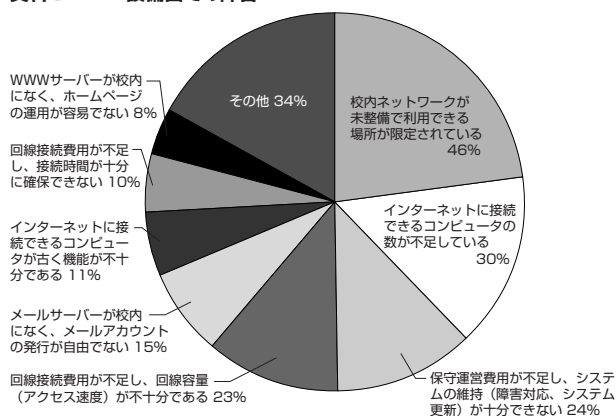
出所 大阪教育大学「インターネットと教育」調査結果を元に作成

資料3-1-3 接続された教室数



出所 大阪教育大学「インターネットと教育」調査結果を元に作成

資料3-1-4 設備面での障害



注) 2項目選択合200%で表示 出所 大阪教育大学「インターネットと教育」調査結果を元に作成

解説

学校におけるインターネット利用環境

国内のインターネットの教育利用の動向を調べるため、学校のホームページ管理者を対象とした電子メールによるアンケート調査を実施した。調査対象は、大阪教育大学の「インターネットと教育」に収録した8303校の学校ページのうち、メールアドレスが記載された6130校のホームページ管理者である。2000年3月末にメールで調査を依頼し、890校の有効回答（回答率15%）を得た。なお、調査項目はWWWのフォームで間接的に提示している。

この調査の対象となった学校の接続形態を調べたものが資料3-1-1である。ISDNのダイヤルアップ接続などの公衆線接続が合わせて61%で相変わらず主流であるが、専用線などで常時接続されている学校が、昨年の20%から35%へと増えている。

また、インターネットに接続されている端末数が資料3-1-2に示されている。端末数が3台以下の学校の割合が昨年の39%から22%に減少しており、着実に増加している。

ところで、資料3-1-3からわかるように、74%の学校ではインターネットを利用できる教室数が2以下にとどまっている。実際、資料3-1-4で設備面での問題点を尋ねた結果は、「校内ネットワークが未整備」が46%、「接続できるコンピュータの数が不足」が30%と、昨年と同様の回答傾向が得られた。引き続き校内LANの整備が現場における課題となっている。

(越嗣國雄 大阪教育大学教育学部教授)

<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/educ/>



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp